P３　きんもくせい４月号　看護部通信

新人看護師奮闘記～寄り添う看護を目指して～

私の勤務する病棟は、主に外科の患者さまが多く入院され、毎日慌ただしい日々を送っています。学生時代の実習では、手術前後の患者さまを受け持ち、入退院の多い中でも患者さまの立場に立って物事を考え、サポートすることの大切さを学びました。また、回復していく中で見られる患者さまの笑顔に喜びを感じました。気が付けば、忙しい中でも一人一人の患者さまとの時間を大切にする先輩看護師が私の目標になりました。

　実際に看護をしてみると分からないことやできないことが多くあり、不安や焦りと同時に、責任の重さを実感しました。そのようなとき、悩んでいる私に先輩看護師が「患者さまのために何をしたいのか」を考えてみるようアドバイスをしてくれました。そこで患者さまの立場に立ち考えることを心掛け、実際の患者さまの状態から望んでいることを読み取り、患者さまの不安な気持ちを少しでも取り除けるようとコミュニケーションの時間を大切にしていきました。そのような中で患者さまから「ありがとう」「あなたが来てくれると安心する」「失敗してもいいから何でも経験だよ」等の言葉をかけていただくことが増え、看護師として働くことへのやりがいに繋がっています。

　私の元気の源は患者さまの笑顔です。今後も何事にも感謝の気持ちを忘れず、一人一人の患者さまが望む生活をサポートできる看護師を目指していきたいです。

５階東病棟　中村 桃子